

学校評価（共通項目）評価書

柱	No.	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて 全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	学校教育目標の実現に向けて、各学年、部、委員会等で組織的に取り組むことができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 様々な行事等について、教職員が協力して取り組まれていると思う。 運動会、音楽発表会を見させていただいて（短時間ですが）子供たちがしっかりと活動していた。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	A	P T Aの協力のもと、通学路の安全対策、児童の見守り活動を進めることができた。また、小中で連携して引き渡し訓練を実施することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> この2年間、教育委員会や道路安全課、県警と合同でP T Aから通学路改善要求の場がなくなっている。学校側は、教育委員会を通じ、その場を作ってほしい。 避難訓練などの実施により対応していると思います。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	年間を通して放課後算数教室を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力不足ということ、親学を理解いただき、家庭での環境や教育力の増加が望まれます。 放課後図書室活動で見え限りでは、子供たちは私の説明を聞き、しっかりと努力していた。 授業の進行、児童への言葉かけなどから様々な工夫が感じられ、基礎学力及び、児童の実態に基づいた指導をされていると感じます。
	4	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	全国学力学習状況調査・県学習状況調査の結果を分析し、課題を明らかにし、授業改善に生かすことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業等、先生方の頑張っている姿はうれしいです。 短時間の参観をしましたが、先生方は工夫して授業を行っていた。
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	A	全クラスに、声の物差し、発言にしかた等の掲示を行い、学校全体で学習ルールの統一を進めた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習ルールについて統一性をもったり、連続性を持つたりすることにより、子供たちの学習に対する態度や意欲が、安定するとよいと思います。
規律ある態度育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身につけている。	B	年間を通して、挨拶については取り組むことができ、だいぶ挨拶ができるようになってきたが、今後の継続して取り組む必要がある。	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、頑張っていたいただいておりますが、もっと見える結果が求められます。友達同士も少し声掛けにより仲間の輪が広がるのではと思っています。 来校者に対して積極的に児童から挨拶することはありません。こちら側から挨拶をすると返してくれる子どもはいます。 家庭でも地域が挨拶をしていないので区別はできないと思います。 地域での少しずつ挨拶をしてくれるようになった。（顔をおぼえた子供たち）先生方はよく挨拶をしてくれます 来校者に対して積極的に児童から挨拶することはあまりないように感じています。 正しい日本語を身に付けるのも、小さいうちです。先生方、そして家庭でも気を付けて美しい後ろ姿と話し方の見本になり子ども達へ伝えたいです。 「です、ます」を本当に使わなければいけない場で自然に口から出るか疑問はあります。それができないのは、学校、家庭共に大人と子どもの関係が友達感覚なものになっていることも一因だと思います。 大人との会話、子ども同志の会話についてもう少し指導が必要と思う。
	7	学校は児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	B	生徒指導については、生徒指導部を中心に、学校全体で取り組むことにより、成果を上げることができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 細かい所で子ども同志の心がつながないのを感じます。和・輪は大切ですね。 ラインなどのSNSによるいじめは、学校、保護者とも、見え難いものです。保護者、教職員がそういった現状や対策を学ぶ必要があります。 友達関係はよいと思う。 いじめの根絶はある意味できないと私も感じます。子供たちに寄り添い、早期にそれに気づいてあげること、そして担任やそのほかの教職員が、威厳をもって接し、解決することが何よりだと思います。 私の知る限りでは、いじめ等は内容に思いますが、このような部分はなかなか見えにくいものですので、普段から注意しておく必要があるように思います。

健康・体力向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	イチョウタイム（昼休み）では、各クラスで工夫し校庭で遊びを行い、体力を高めることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は元気に運動している様ですが、数字が低いものの能力向上に寄与する道具等を設置するなどしてほしい。 ・体力は大切な力だと思います。また、脳は体を動かすことにより活性化されるものですので、ルールのあるゲーム遊びなどで、競争することを楽しんだり、遊びそのものの楽しさを感じられるようになったりすると思います。 ・外遊び、外での活動について、学校の取組をもっと工夫していくとよいのではないかと。 ・私の見た限りでは、子供たちは元気に運動しているように感じています。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	なわとび大会など体力向上に向けた新たな取組を行うことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方からの子ども達への努力やアイデアに感謝しています。 ・なわとびの記録の掲示はよかった。 ・いろいろな取組と行っていらっしゃるの、これからも様々な観点から工夫し、続けていってほしいと思います。
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	A	地域、PTAの活動に、年間を通して、教職員が計画的に参加、協力することができた。また、学校の教育活動を、ホームページで定期的に情報提供することができた。来年度は、さらなる充実を図っていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多方面でのつながりが大切な時代です。保護者側が忙しいなど仕事の理由があっても、絶対に協力すべきです。学校に任せっきりにではないかと。 ・にいくら夏まつりや廃品回収などの教職員の皆様の参加に大変感謝しております。今後も、この協力関係を維持していければと感じています。 ・地域のつながりが薄れていく中、箏クラブ、白子ばやしなどを通して、地域ともいろいろと連携をとっていらっしゃると感じます。 ・学校で行われる地域祭りや廃品回収などに参加していただける教職員が多い。さらに、学校側と保護者側のコミュニケーションの機会を増やすことで、協力関係を強固にできると思います。 ・学校行事の案内が毎回ありよかった。

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均点から、A：3.4以上、B：2.6以上
C：2.0以上、D：2.0未満